

## 社会福学科 介護福祉専攻 1年 後期 専門科目

1. 人間の尊厳と自立
2. 社会と制度の理解Ⅱ
3. 介護の基本Ⅱ
4. コミュニケーション技術Ⅱ
5. 生活支援技術Ⅰ-②
6. 生活支援技術Ⅱ-②
7. 介護過程Ⅱ
8. 介護総合演習Ⅱ
9. 発達と老化の理解Ⅱ
10. 認知症Ⅰ
11. こころとからだのしくみⅡ
12. こころとからだのしくみⅣ
13. 医療的ケア基礎
14. 介護実習Ⅱ-①

社会福祉学科

介護福祉 専攻

1 年

科目名：人間の尊厳と自立				担当教員 氏名：宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	1年次 後期	専門必修科目	講義	必修	介護福祉士(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			社会福祉士としての実務経験をもとに事例を交えながら授業をする。			
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード		
「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養う。				自己実現、自律と自立、利用者の権利、専門職の価値観、自立支援		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6		
A 知識・理解力	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。					
C 論理的思考力	「人間」に関して、複眼的、論理的に分析し、表現できる。					
E 自己管理能力	介護福祉士として、自らを律して行動できる。					
G 倫理観	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。					
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %	レポート： 20 %	発表： %	実技試験： %	その他： 30 %		
特記事項： 「その他：30%」では、授業態度について評価する。本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として、グループワークを活用し、学生相互の理解を深める。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション～人間とは～				【予習】テキスト第1章第1節1を読む 【復習】①の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②よりよく生きるとは？～人間の欲求～				【予習】テキストのP53の図：「意欲と行動の理解」を理解してくる。 【復習】②の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③自己実現と価値観				【予習】テキスト第1章第1節2を読む 【復習】③の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④人間の自律と自立				【予習】テキスト第1章第1節3を読む 【復習】④の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤福祉専門職の価値観とは～介護福祉士会倫理綱領から考える～				【予習】介護福祉士会倫理綱領を読む 【復習】⑤の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥DVD学習①～生きるとは～				【復習】⑥の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦DVD学習②～介護福祉士として利用者の「生きる」支援とは～				【予習】テキストP29事例「よく生きるということ」を読む 【復習】⑦の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧介護福祉士として利用者の「生活支援」をどう考えるか・中間まとめ				【予習】①～⑦の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨「人権」って何？～人が人として生きるうえでの権利～				【予習】テキスト第1章第2節を読む 【復習】⑨の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩利用者の権利とは？～介護福祉士が利用者の権利を擁護するとは？				【予習】テキスト第2章第1節1を読む 【復習】⑩の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪自立支援～介護福祉士が利用者の自立を支援するとは？～				【予習】テキスト第2章第1節2を読む 【復習】⑪の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫利用者の尊厳①～利用者の生きる実感～				【予習】テキスト第2章第2節1を読む 【復習】⑫の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬利用者の尊厳②～介護場面における利用者の尊厳保持とは？～				【予習】テキスト第2章第2節2を読む 【復習】⑬の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭利用者の尊厳③～利用者の尊厳保持と自立支援～				【予習】テキスト第1章第2節の事例を読む 【復習】⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮介護場面における介護福祉士の役割・まとめ				【予習】⑨～⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト： 最新・介護福祉士養成講座1「人間の理解」中央法規 ISBN978-4-8058-5761-8				その他参考文献など： 「福祉の哲学」阿部志郎 著 誠信書房		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 各テーマは重複する点もあるので、配布した資料等は毎回持参すること。						

科目名: 社会と制度の理解Ⅱ				担当教員 氏名: 宮嶋 潔、茂古沼 江里、鷹西 恒、東 真盛		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	1年次 後期	専門必修科目	講義	必修	介護福祉士(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			高齢者福祉施設や障害者支援施設での勤務経験を活かして、現状や課題も含めた授業を展開している。			
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
介護に関する近年の社会保障制度の大きな変化である介護保険制度と障害者総合支援制度について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習得する。また、個人情報保護や成年後見制度などの基礎的知識も介護実践に関連づけて習得する。				介護保険制度、障害者総合支援法、日常生活総合支援事業、成年後見制度		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6.		
A 知識・理解力		介護保険制度と障害者総合支援制度について、理解することができる。また、個人情報保護や成年後見制度などの基礎的知識も介護実践に関連づけて理解できる。				
C 論理的思考力		介護保険制度と障害者総合支援制度や関連制度について、複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
G 倫理観		尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 「その他:30%」では、授業態度について評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション      実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【宮嶋】オリエンテーション～介護保険制度と障害者総合支援法～				【予習】テキストの目次を読んで学ぶことの概要をつかむ 【復習】①の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②【茂古沼】介護保険制度はなぜ作られたか?				【予習】テキスト第3章第1節を読む 【復習】②の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③【茂古沼】介護保険制度のしくみ				【予習】テキスト第3章第2節1～3を読む 【復習】③の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④【茂古沼】介護保険サービスの種類(1)～改正前～				【予習】テキスト第3章第2節5・6を読む 【復習】④の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤【茂古沼】介護保険サービスの種類(2)～改正後～				【予習】テキスト第3章第2節7・8を読む 【復習】⑤の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥【茂古沼】介護保険制度における組織・機関の役割				【予習】テキスト第3章第3節を読む 【復習】⑥の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦【茂古沼】介護保険制度は成功か失敗か?				【予習】テキスト第3章第4・5節を読む 【復習】⑦の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧【茂古沼】介護福祉士と介護保険制度・中間まとめ				【予習】①～⑦の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨【鷹西】障害者にとっての「障害」は個性なのか?				【予習】テキスト第4章第1節1を読む 【復習】⑨の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩【鷹西】障害者福祉の変遷～障害者総合支援法までの障害者福祉～				【予習】テキスト第4章第1節2・3を読む 【復習】⑩の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪【鷹西】障害者総合支援法の背景としくみ				【予習】テキスト第4章第2節1～4を読む 【復習】⑪の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫【鷹西】障害者総合支援法におけるサービスの種類				【予習】テキスト第4章第2節5～7を読む 【復習】⑫の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬【東】障害者総合支援法における組織・機関の役割				【予習】テキスト第4章第3節を読む 【復習】⑬の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭【鷹西】障害者の権利を守る制度～日常生活総合支援事業と成年後見制度～				【予習】テキスト第5章を読む 【復習】⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮【鷹西】保健・医療・福祉に関する施策・まとめ				【予習】⑨～⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 新・介護福祉士養成講座2「社会と制度の理解」中央法規 ISBN978-4-8058-5762-5 「福祉小六法」中央法規 ISBN978-4-8058-5812-7				その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介する。 【茂古沼】高岡市の介護保険の手引き		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各テーマは重複する点もあるので、配布した資料等は毎回持参すること。また、福祉の制度の変化は早いので日頃から新聞等で動向を確認するよう心がけること。						

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 介護の基本Ⅱ			担当教員 氏名: 毛利 亘			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
4	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのよ介護保険施設における介護経験及び管理職の経験から、利用者主体のケアの視点とチームケアに関してうな授業を行っているか: 具体的事例を取り入れる。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
本科目は介護の基本Ⅰと同様、介護領域の礎となる科目である。保健医療に関する基礎知識について理解するとともに、介護福祉士にとって必要な介護福祉に関する知識、利用者主体という基本的な視点、ICFの概念で人を理解し、自立支援に繋げる観点及びリハビリテーション知識を持ち、チームケアの実践力を持つことを目標としている。						ICF リハビリテーション からだの理解 尊厳 豊かに暮らす 終末期 連携
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6.	
A 知識・理解力			自立に向けた介護を行うための知識を獲得することができる			
C 論理的思考力			利用者主体とはどのような実践で実現するのかを考察し、理解することができる			
F チームワーク・リーダーシップ			尊厳を支える介護を迫ることができる			
G 倫理観			他職種との連携を理解することができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: アクティブラーニングを用いた積極的な意見交換を行います。積極的な授業態度として10%を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 29回に評価に関する演習を行います。最終回にはまとめを行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験に関しては結果を渡し、全体に振り返りを伝えます。						
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講「介護の基本Ⅰ」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5763-2 介護福祉士養成講座編集委員会編集				その他参考文献など: 「管理される心」世界思想社、A.Rホックシールド		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): アクティブラーニングを元にグループワークを取り入れます。授業には積極的に取り組んでください。適宜、資料を配布しますので自己管理を行ってください。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
回数						
1	授業オリエンテーション～介護福祉士の倫理～			テキスト2章を復習・第3章第1節の学習ポイントを振り返	【予習】30分 【復習】30分	
2	人を支える強さ(若年性アルツハイマー病患者の支え)			疾病の理解・テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分	
3	介護職が行う生活支援(食事・排泄・睡眠)			テキスト・配布資料を読む	【予習】30分 【復習】30分	
4	介護職が行う生活支援(機械浴槽での入浴・家事支援)			配布資料を読む	【予習】30分 【復習】30分	
5	介護職が行う生活支援(口腔ケア・移動・家族支援など)			配布資料を読む	【予習】30分 【復習】30分	

※前ページよりつづき

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名： 介護の基本Ⅱ		担当教員 氏名： 毛利 亘	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	尊厳を支えるという事を考える(機械による介護～利用者理解)	テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分
7	文化的な生活を支える援助	配布資料を読む	【予習】30分 【復習】30分
8	尊厳を支えるという事を考える～介護福祉士の倫理綱領～	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
9	要介護者にとっての自立した暮らしとは～エンパワメントの考え方	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
10	穏やかな終末期を支えるケアを考える	配布資料を読む	【予習】30分 【復習】30分
11	施設入所者の理解(詩から考える)	テキスト自立・自律した暮らしを実現するケアを読む	【予習】30分 【復習】30分
12	高齢者施設入所者の理解(終末期への準備～ある特養の取り組み)	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
13	高い倫理性(口から食べるということ)つゆのあとさき	テキストを読む・授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
14	身体拘束を考える	テキスト事例を読む・授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
15	老いを生きる(当事者の視点)	テキストを読む・授業内容を振り返る	【予習】30分 【復習】30分
16	感情労働としての介護	配布資料の理解	【予習】30分 【復習】30分
17	QOLの考え方①認知症入所者の理解(DVD学習・しわ)	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
18	QOLの考え方②認知症利用者のニーズ	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
19	ノーマライゼーションを考える	テキストを読む・授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
20	ICFの理解	配布資料の復習	【予習】30分 【復習】30分
21	ICFの理解～認知症GH入所者DVD学習	配布資料の復習	【予習】30分 【復習】30分
22	ストレングスの活用	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
23	自立支援と介護予防(動かさないことによるリスク)	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
24	リハビリテーションとは	授業内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
25	介護実践とリハビリテーション	授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分
26	介護予防とリハビリテーション	テキストを読む・授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分
27	能力の維持・拡大	配布資料の再理解	【予習】30分 【復習】30分
28	介護予防における介護福祉士の役割と多職種連携	配布資料の再理解	【予習】30分 【復習】30分
29	介護観を持つということ	自身の介護に関する考えをまとめてみる	【予習】30分 【復習】30分
30	まとめの演習～介護観の可視化～	後半の授業の復習・本科目の振り返り	【復習】30分

社会福祉学科			介護福祉 専攻		
科目名: コミュニケーション技術Ⅱ			担当教員 氏名: 平田 洋介		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	専門科目	演習	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 介護福祉士及び介護福祉施設の管理者としての経験から、多様な障害に合ったコミュニケーション及び、 チームにおけるコミュニケーションを担当する。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
自分の意思や要求を相手に伝えることが困難になっている方に対し、障害の状態や原因を理解した上で、必要とされる技術を学ぶ。多職種協働におけるチームのコミュニケーション能力も養う。					コミュニケーション障害 チームのコミュニケーション
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号) 2. 5. 6. 7.		
A 知識・理解力	コミュニケーション障害の原因を理解する。				
B 専門的技術	障害の特性に合わせた技術を習得する。点字の基礎技術を習得する。				
F チームワーク・リーダーシップ	チームのコミュニケーション方法を理解し、実践できる能力を習得する。				
H コミュニケーション力	人間の心と行動を理解し、自己・他者とコミュニケーションができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要件に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 80 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: その他の20%とは授業中に行う演習への取り組みの成果の評価です。グループワークなどを通してアクティブラーニングを意識した授業展開をします。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第14回に最終評価について説明します。第15回目には評価を行い、そのまとめを行います。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜演習で記入するワークシートやテストは、コメント記入・採点し返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション コミュニケーション障害とは			【予習】教科書(コミュニケーション障害の理解、対応)を読む	予習・復習 30分	
②様々なコミュニケーション障害			【予習】ワークシート予習 【復習】教科書(特性に応じたコミュニケーションの実践)で読む	予習・復習 30分	
③視覚障害・聴覚障害の理解			【予習】ワークシート予習 【復習】教科書(特性に応じたコミュニケーションの実践)で読む	予習・復習 30分	
④構音障害・失語症の理解			【予習】ワークシート予習 【復習】教科書(特性に応じたコミュニケーションの実践)で読む	予習・復習 30分	
⑤認知症の理解とコミュニケーション			【予習】ワークシート予習 【復習】教科書(特性に応じたコミュニケーションの実践)で読む	予習・復習 30分	
⑥高次脳機能障害の理解 ICF心身機能の理解			【予習】ICFの確認【復習】授業資料の復習	予習・復習 30分	
⑦高次脳機能障害の理解とコミュニケーション技術			【予習】ICFの確認【復習】授業資料の復習	予習・復習 30分	
⑧知的障害者とのコミュニケーションを考える			【予習】ICFの確認【復習】授業資料の復習	予習・復習 30分	
⑨知的障害者とのコミュニケーションを考える 事例演習			【予習】ICFの確認【復習】授業資料の復習	予習・復習 30分	
⑩先天性の脳損傷と後天性の脳損傷			【予習】教科書脳損傷に関する箇所を読む	予習・復習 30分	
⑪家族との関係づくり			ワークシートを用いた予習復習	予習・復習 30分	
⑫家族関係と介護ストレスへの対応			国家試験問題の復習	予習・復習 30分	
⑬チームのコミュニケーション ～モチベーションを高める～			【予習】教科書(記録)を読む、ワークシート予習	予習・復習 30分	
⑭チームのコミュニケーション ～報告・連絡・相談、会議～			【予習】教科書(記録)を読む、ワークシート予習	予習・復習 30分	
⑮まとめ			まとめの授業資料の復習	予習・復習 30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」編集 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 ISBN978-4-8058- 5765-6			その他参考文献など: 「改訂 失語症の人と話そう」(中央法規)、ICF国際生活機能分類		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 随時ワークシートを配布するので、ファイル等に保管し持参すること。また、演習内容の理解度や進行状況をみて、講義内容を一部変更します					

社会福祉学科			介護福祉 専攻						
科目名: 生活支援技術 I -②			担当教員 氏名: 岩上厚子、岡野宏宣、関根双葉						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
1	1年次 後期	専門科目	演習	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: レクリエーション・コーディネーターや臨床美術士の資格を持って実務経験を有した教員が、その経験を生かして、生活支援を必要とする人を対象に音楽やレクリエーション、造形表現活動に関する授業を行う									
授業科目の学習教育目標の概要:									
・各課題にとりくむなかで、自己・他者の発見やつづきを理解し、将来的にかかわる利用者の「可能性」「ニーズ」「生活のゆとり」をつくり出す、よりよい支援の在り方を学ぶ。 ・単発的なレクリエーション財の習得のみを目的とするのではなく、企画、立案の方法、財の選択、アレンジの方法なども含めて体験的に学習する。・音楽の療法的意義を学ぶ。				キーワード レクリエーション活動 個別学習とグループ学習 レクリエーション活動の意義や内容の理解 ホスピタリティトレーニング 音楽療法					
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8.				
A 知識・理解力	福祉におけるレクリエーション活動の意義や内容について理解することが出来る。								
B 専門的技術	レクリエーション活動に関する基礎的・基本的な技術を習得する。 介護の目的に合わせたレクリエーション提供能力を習得する。								
C 論理的思考力	対象者に合わせた工夫やアレンジの能力を習得する。								
D 問題解決力	自分が経験した活動に関する意義や内容、発見や表現意図などに関してまとめ、利用者とかかわる場に向けて、学びを整理して記述することができる。								
H コミュニケーション力	活動に取り組むなかで、自己・他者を理解し、コミュニケーションを育むことができる。 コミュニケーションを促進するためのレクリエーションの活用方法を習得する。								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:【岡野】『レポート(50%)』は、各課題の学びを整理・記録したフォリオである。『発表(50%)』は、課題作品・提出、授業態度である。 【岩上】毎回授業終了時にレポートの提出を求めます。 【関根】『レポート』(60%)および『発表』(30%)においては演習の集中度、意欲、「その他」(10%)においては、授業態度などで評価する。									
配布資料の整理と 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
状況・レポート・発表・実技試験等の実施時期:【岡野】各課題の後に学びを整理・記録したフォリオを作成して提出。その後にはフォリオの記入 状態、課題作品、授業態度と合わせて評価(点数化)していきます。【岩上】レポートと取り組み度により評価します。 【関根】レポート(60%) 演習(30%)においては演習の集中度、意欲 その他10%)は、配布資料の整理と授業態度で評価します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:【関根】レポートは、授業終了後メッセージを添え返却する。									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容	学習に必要な 時間(分)					
①【関根】音楽の効果を感じ理解	演習を通して音楽の効果を感じ理解		【予習】実習での音楽体験、自らの音楽体験を振り返り整理	【予習】60分					
②【関根】障害と音楽	療法的意義の理解		【復習】授業で体験した音楽の習得	【復習】60分					
③【関根】音楽リハビリ	音楽を使う 目的・選曲・方法について		【復習】授業で体験した音楽の習得	【復習】60分					
④【関根】音楽リハビリ	音楽を活用したリハビリ手法		【予習】音楽の活用法を考える 【復習】音楽の活用法を工夫する	【予習】30分 【復習】30分					
⑤【岩上】レクリエーションの意義			【予習】ワークシートを配布・レクリエーションのイメージについてまとめておく【復習】福祉レクリエーションについての考え方のレポートを提出	【予習】60分 【復習】120分					
⑥【岩上】ホスピタリティの示し方			【復習】援助者の役割についてまとめる(どのような援助者を指すのかまとめる)	【復習】90分					
⑦【岩上】アイスブレイキングの基本技術			【予習】レジメを熟読しておく	【予習】90分					
⑧【岩上】アイスブレイキングのプログラミング			【予習】レジメを熟読しておく	【予習】90分					
⑨【岩上】介護予防とレクリエーション			【予習】高齢者の馴染みの歌を調べる 【復習】健康体操の復習	【予習】120分 【復習】120分					
⑩【岩上】ふりかえりとまとめ			【予習】各県のレクリエーション協会のHPにアクセスし、どのような事業を展開しているか調べておく【復習】現代社会の課題を解決するようなレクリエーション行事について考えを深める	【予習】120分 【復習】120分					
⑪【岡野】造形活動1.『ドリップングアート』			【復習】偶然性を利用した造形活動について振り返りシートを記	【復習】60分					
⑫【岡野】造形活動2.『生活素材で造形表現』			【復習】生活素材の活用について振り返りシートを記入	【復習】60分					
⑬【岡野】造形活動3.『紙テープの稜線接着で作る壁面制作①』			【復習】制作イメージをつくる	【復習】60分					
⑭【岡野】造形活動4.『紙テープの稜線接着で作る壁面制作②』			【復習】共同制作に関する振り返りシートを記入	【復習】60分					
⑮【岡野】まとめ(福祉分野における造形活動の援助・留意点)			【復習】日常空間におけるアートの在り方について考えを深め	【復習】60分					
使用テキスト: 【岡野】【関根】必要に応じて資料を提供します。			その他参考文献など: 【岡野】【岩上】随時紹介します。 【関根】・「介護予防+認知症予防プログラム・歌遊び・歌体操」(あおぞら音楽社)能村昭子 978-4-904437-15-5						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):【岡野】毎回課題制作を行うので、欠かさず出席してください。やむを得ない理由で課題の進行が遅れた場合は、自ら時間をつくり、遅れを取り戻してください。 【岩上】支援力を身につけるためにもボランティア活動には積極的に参加しましょう。 【関根】音楽演習を楽しみ積極的に取り組むことを望みます。									

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: 生活支援技術Ⅱ-②			担当教員 氏名: 精田 紀代美、黒田 美樹			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	演習	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験をうけてどのよ 歯科衛生士や介護福祉士として介護老人福祉施設の実務経験を有した教員が、その経験を生かして、介護うな授業を行っているか: を必要とする人の尊厳ある生活を支援する技術を学ぶ授業を行う						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
生活支援技術として必要な基礎的技術を習得する科目である。その際、口腔ケア、清潔保持、福祉用具の活用、食事、入浴、排泄、睡眠などの知識と技術を理解し習得する。					福祉用具 清潔保持 食事 排泄 睡眠終末期	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 7	
A 知識・理解力			生活援助の基本的姿勢を理解することができる			
B 専門的技術			利用者に対する適切な生活支援技術を習得することができる			
G 倫理観			利用者の尊厳を遵守した生活支援技術が展開できる			
C 論理的思考力			科学的な根拠をもとに安全・安楽な技術を実践できる			
H コミュニケーション力			自立支援や利用者主体の技術を行うためのコミュニケーション能力を養うことができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: %		発表: %		実技試験: 40 %
その他: 20 %						
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、各演習の取り組み状況を評価する。その他20%とは、授業態度や授業の取り組み姿勢・事前学習課題の状況が対象となります。二班に分かれて行なう2コマ連続の授業です。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 中間評価は筆記試験とし、採点后に返却する。最終試験は筆記と実技の結果を本人に伝える。						
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-5767-0				その他参考文献など: コミュニティーケア 2016年12月号 特集2(日本看護協会出版会)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本科目は、アクティブラーニングを基本とした介護実習室での授業となります。グループに分かれての授業となります。メンバー同士協力し事前準備や片付けを行なってください。使用物品や用具などは正しく丁寧に扱う習慣をつけてください。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
回数				学習内容	学習に必要な時間(分)	
1	授業～オリエンテーション(目的や留意点・展開方法・評価など)					
2	入浴介助 1「機械浴、個浴、洗髪」の講義			【予習】テキストを読む (1)入浴、清潔保持の意義と目的 (2)入浴、清潔保持の介護技術	【予習】120分	
3	入浴介助 2「機械浴、個浴、洗髪」の実技①			【復習】小テスト	【復習】120分	
4	入浴介助 3「機械浴、個浴、洗髪」の実技②			【予習】テキストを読む (1)清潔保持の介護 (2)入浴、清潔保持の道具・用具	【予習】120分	
5	入浴介助 4「清拭、手浴、足浴」①			【復習】小テスト	【復習】120分	



※前ページよりつづき

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 生活支援技術Ⅱ-②		担当教員 氏名: 精田 紀代美、黒田 美樹	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	入浴介助 5 「清拭、手浴、足浴」②	【予習】テキストを読む (1)清潔保持の介護 (2)入浴、清潔保持の道具・用具 【復習】小テスト	【予習】120分 【復習】120分
7	【精田】口腔内の清潔①	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。 <基礎的知識>	【予習】30分 【復習】30分
8	【精田】口腔内の清潔②	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。 <具体的な技術>	【予習】30分 【復習】30分
9	福祉用具の活用と腰痛対策	予習・復習学習課題としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。	
10	福祉用具の活用と腰痛対策に留意した移動の介護		【予習】120分 【復習】120分
11	食事の介助 1 「食事の意義・目的・姿勢など」	【予習】テキストを読む p.188～212 (1)食事の意義と目的 (2)食事における介護技術 【復習】小テスト	【予習】120分 【復習】120分
12	食事の介助 2 自立に向けた食事の介護		
13	食事の介助 3 「介護食の体験」① 利用者の状態に応じた食事の介護	【予習】テキストを読む (1)排泄の意義と目的 (2)排泄における介護技術 【復習】小テスト	【予習】120分 【復習】120分
14	食事の介助 4 「介護食の体験」②		
15	入浴・食事・口腔ケア・福祉用具の振り返りとまとめ	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。 <効果や結果の判断ができること>	【予習】120分 【復習】120分
16	中間のまとめ		
17	排泄の介助 1 「トイレでの排泄介助」 自立に向けた排泄の介護	【予習】テキストを読む (1)排泄の意義と目的 (2)排泄における介護技術 【復習】小テスト	【予習】120分 【復習】120分
18	排泄の介助 2 「ポータブルトイレでの介助」		
19	排泄の介助 3 「紙おむつ」① ベッドの上でのオムツ交換	【予習】テキストを読む (1)ベッド上でのおむつ交換 (2)尿器・差し込み便器を使用した介助 (3)尿失禁・便失禁について (4)紙おむつの種類 【復習】小テスト	【予習】180分 【復習】180分
20	排泄の介助 4 「紙おむつ」②		
21	排泄の介助 5 排泄方法の選択		
22	排泄の介助 6 尿器・便器		
23	人生の最終段階における介護	【予習】テキストを読む (1)部分浴の介助 (2)手浴・足浴について (3)安楽な体位を肘する介助	【予習】120分 【復習】120分
24	終末期の介護	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。	【予習】30分 【復習】30分
25	後期授業のまとめ 事例演習 1-①	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。	【予習】30分 【復習】30分
26	後期授業のまとめ 事例演習 1-②	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。	【予習】30分 【復習】30分
27	後期授業のまとめ 事例演習 2-①	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。	【予習】30分 【復習】30分
28	後期授業のまとめ 事例演習 2-②	予習・復習学習としてテキストの該当箇所を読み、太字の語句を理解する。	【予習】30分 【復習】30分
29	後期授業のまとめ 後期筆記試験		
30	後期授業のまとめ 後期筆記試験		

社会福祉学科				専攻		
科目名： 介護過程Ⅱ				担当教員 氏名： 毛利 亘		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	演習	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 介護従事者の経験から介護過程の展開の実際について事例を用いて授業します。						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
介護福祉士には専門的知識・技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程の展開能力が求められます。本科目ではその介護過程の計画の立案・実施・評価の過程、及び利用者の特性に応じた介護過程の実践知識を学びます。また介護実習Ⅱ-①に向けた意識的な演習も行います。						計画立案・実施・評価 記録方法 展開の実際
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 9.	
A 知識・理解力			介護過程展開のための知識を習得することができる			
B 専門的技術			目標達成に向けての援助内容を組み立てることができる			
C 論理的思考力			利用者の特性に合わせた介護過程を組み立てることができる			
D 問題解決力			利用者の課題を明確にし、適した実践ができるよう介護計画を立案することができる			
F チームワーク・リーダーシップ			自立支援に沿った介護計画立案から評価までを、多職種連携によるアプローチの必要性を理解する。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 70 %	レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： 30 %		
特記事項：最終評価のためのテストは、介護過程の事例を用いた演習を行います。その他30%とは授業への取り組みの姿勢及び、提出物の遵守をいいます。個人による演習だけではなくアクティブラーニングの一環としてグループによるディスカッションを多く取り入れます。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：29回・30回に評価のための演習を行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：コメントや修正箇所を記入し返却します。						
使用テキスト：①最新介護福祉士養成講座「介護過程」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5769-4 ②介護福祉士養成講座編集委員会 ICF国際生活機能分類 WHO 中央法規 ISBN978-4-8058-4417-5				その他参考文献など：「その人を中心に考える介護計画」現代図書、「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用 中央法規		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：演習には積極的に取り組んでください。また授業中の私語は十分注意してください。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
回数						
1	介護過程Ⅰの振り返りの演習～各過程の理解			事前に介護過程Ⅰの授業を振り返る・演習を振り返る		【復習】60分
2	介護過程Ⅰの振り返りの演習～情報の理解			演習を振り返る		【復習】60分
3	情報の整理			演習を振り返る		【復習】60分
4	情報の関連付けに向けて			演習を振り返る		【復習】60分
5	気にかけての情報と関連性のある情報の把握			演習を振り返る		【復習】60分

※前ページよりつづき

社会福祉学科

0 専攻

科目名： 介護過程Ⅱ		担当教員 氏名： 毛利 亘	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	情報の繋がり、対象者の気持ちの理解	演習を振り返り修正する	【復習】60分
7	情報を関連付けて解釈すること	演習を振り返り修正する	【復習】60分
8	解釈文章の修正ポイント	演習を振り返り修正する	【復習】60分
9	解釈文章の留意点と自身の文章の傾向	演習を振り返り修正する	【復習】60分
10	生活課題の明確化に向けて	演習を振り返り修正する	【復習】60分
11	生活課題を明確化する	演習を振り返り修正する	【復習】60分
12	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習	演習を振り返り修正する	【復習】60分
13	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習 情報の整理	演習を振り返り修正する	【復習】60分
14	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習 課題の明確化	演習を振り返り修正する	【復習】60分
15	実習記録の介護過程	演習を振り返り修正する	【復習】60分
16	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習 長期・短期目標	演習を振り返り修正する・実習要綱で記録用紙の理解をする	【復習】60分
17	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習 実施と評価を見ずえた目標の作成	演習を振り返り修正する	【復習】60分
18	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習 援助内容の組み立ての演習	演習を振り返り修正する	【復習】60分
19	介護実習記録の理解と実習事例を活用した演習 実施と評価を見ずえた援助内容の組み立て・記述の振り返りと担当と頻度	演習を振り返り修正する	【復習】60分
20	介護実習記録の理解と実習事例②を活用した演習	演習を振り返り修正する	【復習】60分
21	介護実習記録の理解と実習事例②を活用した演習 情報の整理	演習を振り返り修正する	【復習】60分
22	介護実習記録の理解と実習事例②を活用した演習 課題の明確化	演習を振り返り修正する	【復習】60分
23	介護実習記録の理解と実習事例②を活用した演習 長期・短期目標	演習を振り返り修正する	【復習】60分
24	介護実習記録の理解と実習事例②を活用した演習 実施と評価を見ずえた目標の作成	演習を振り返り修正する	【復習】60分
25	演習の振り返り	演習を振り返り修正する	【復習】60分
26	利用者の特性に応じた介護過程 身体障害者療護施設での生活支援	演習を振り返り修正する	【復習】60分
27	利用者の特性に応じた介護過程 身体障害者療護施設での生活支援	演習を振り返り修正する	【復習】60分
28	実習記録用紙を用いての情報の収集演習	演習を振り返り修正する	【復習】60分
29	事例演習	演習を振り返り修正する	【復習】60分
30	事例演習	演習を振り返り修正する	【復習】60分

社会福祉学科			介護福祉 専攻						
科目名: 介護総合演習Ⅱ			担当教員 氏名: 毛利 亘						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのよ: 介護過程の展開プロセスのうち、介護計画立案までを行う介護実習Ⅱ-①の事前事後学修科目である。介 うな授業を行っているか: 護福祉現場にて従事経験がある教員が、その経験を活かして実習指導を展開します。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
本科目は、個性性を重視した介護計画の立案・利用者の心身の状況に応じた生活支援技 術の実践を目標とした介護実習Ⅱ-①の事前・事後指導科目です。						ICF 介護過程 レクリエーション 他職種連携			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 4. 5. 6. 7. 9				
A 知識・理解力			個別のニーズに応じた介護計画を組み立てることができる						
B 専門的技術			個別のニーズに応じた生活支援技術の実践力を養う						
C 論理的思考力			個別のニーズを情報の解釈において理解し、計画に反映する						
F チームワーク・リーダーシップ			同職種・他職種との連携のあり方を学ぶことができる						
H コミュニケーション力			利用者の特性に応じたコミュニケーションを図ることができる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項: その他50%は授業態度や取り組みの姿勢、実習記録ファイル等の提出を評価します。また実習終了後の報告会に関する 評価も含まれます。									
アクティブラーニング要素									
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 実習直前に事前打ち合わせ報告会、実習直後に事後報告会を巡回教員単位で実施し ます。また全体で実習報告会を行います。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートや演習シートにコメントしフィードバックとします。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①個性性を尊重した介護計画とは1～記録の考え方				実習要綱2pを読む	【予習】30分				
②個性性を尊重した介護計画とは2～記録の書き方				演習の復習をする	【復習】30分				
③利用者の全体像をとらえること				演習の復習をする	【復習】30分				
④情報収集について				演習の復習をする	【復習】30分				
⑤アセスメントについて				演習の復習をする	【復習】30分				
⑥事前打ち合わせ訪問に向けて				実習前後の予定を確認する	【復習】30分				
⑦介護計画の立案				演習の復習をする	【復習】30分				
⑧特別講義				講義を受けて自己目標を認 識する	【復習】30分				
⑨事前打ち合わせ報告会				施設の概要を調べる	【復習】30分				
⑩直前オリエンテーション				実習ファイルを確認する	【復習】30分				
⑪報告書の書き方と実習の振り返り				報告書の作成を開始する	【復習】30分				
⑫記録の修正				実習ファイルを振り返る	【復習】30分				
⑬生活支援技術の振り返り				経験録を振り返る	【復習】30分				
⑭報告書の作成				巡回教員の指導を受ける	【復習】30分				
⑮報告会に向けて				報告の練習をする	【復習】30分				
使用テキスト: 介護実習要綱 最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 ISBN978-4- 8058-5770-0 中央法規出版				その他参考文献など: ICF 国際生活機能分類—国際障害 分類改定版 [単行本] 障害者福祉研究会 (編集)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習に向けての重要な科目です。積極的に取り組んでください。									

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 発達と老化の理解Ⅱ			担当教員 氏名: 坂本 美奈子						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格			
実務経験を用いてどのよう臨床心理士としての実務経験は30年以上になる。子供から高齢者の心理面の発達を理解しより良い対人 うな授業を行っているか: 関係力の向上を教科書にはない心理学もふまえて学ぶ機会になればと思う。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
人は、生誕から死に至るまで成長、成熟して人間として個性化していく。ここでは、発達の の観点より老化に伴うところの変化を理解する。心理的評価法・援助技法の概要につい て理解し、現場に適応できる力を養い、自己・他者の理解を深める。					心の発達段階 喪失体験 人格と尊厳 高齢者の心理				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			発達の観点より、老化に伴うところの変化を理解する						
E 自己管理能力			現場に適応できる力を養う						
H コミュニケーション力			自己・他者の理解を深める						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	40 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: その他20%は、授業の出席や受講態度等による。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートにコメントや成績をつけて返却する。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な 時間(分)			
①人間のこころの成長と発達(人間の成長・発達と心理的理解)					120分				
②ライフサイクル					120分				
③心の発達段階と課題					120分				
④喪失体験					120分				
⑤老年期の成熟					120分				
⑥人格と尊厳					120分				
⑦中間のまとめ					120分				
⑧老化が及ぼす心理的影響(老人の心理的理解)					120分				
⑨老いの価値観・受容					120分				
⑩高齢者のこころの問題と精神障害					120分				
⑪介護者による高齢者の心理					120分				
⑫高齢者の知的・認知機能とその特徴					120分				
⑬高齢者の精神的機能の変化と介護予防					120分				
⑭高齢者の心理のまとめ(老人の心理的理解)					120分				
⑮総括					120分				
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座12 『発達と老化の理解』中央法規出版 ISBN978-4-8058-5772-4 C3036					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 認知症 I			担当教員 氏名: 境 美代子 小出えり子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 認知症を取り巻く状況、医学的側面からみた認知症の基礎的知識、心とからだの変化を概説する。病院 の看護師としての経験がある教員が担当する。						
認知症の人の体験や本人の声から認知症を理解し、さらに、認知症ケアの歴史や認知 症の医学的理解、行動・心理的理解について学ぶ。						キーワード 本人本位の視点 エンター 医学的理解 中核症状 行動・心理症状
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 9	
A 知識・理解力			認知症の基礎的知識を身につけ介護にかかわる専門性を発揮する			
D 問題解決力			問題解決に必要な情報を収集・分析し、行動状況を考えることができる			
G 倫理観			尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理観を身につける			
H コミュニケーション力			他者に共感でき相手の立場を理解し相手の状況を考える姿勢を身につける			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 20 %		発表: 20 %		実技試験: %
						その他: 10 %
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、講義中に認知症高齢者との関わり方、より良いケアを学生間で議論する。 その他の30%は、授業態度、各内容のグループワーク等の参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストやレポートの結果を本人に伝えます。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①【境】オリエンテーション・認知症の予習				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】①の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
②【境】認知症の人の介護に向けての理解				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】②の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
③【境】本人本位の視点を確かなものに				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】③の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
④【境】認知症ケアの歴史				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】④の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑤【境】認知症の人の体験				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑤の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑥【境】認知症のケアの理念と視点				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑥の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑦【境】認知症の人に対する介護の中間まとめ				【復習】①～⑦の復習する		【予習】30分 【復習】30分
⑧【小出】認知症とは何か				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑧の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑨【小出】脳のしくみ				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑨の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑩【小出】認知症の診断				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑩の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑪【小出】認知症の原因疾患と治療				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑪の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑫【小出】認知症の予防				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑫の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑬【小出】認知症の人の行動・心理症状				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑬の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑭【小出】認知症の人の心身の変化と生活支援				【予習】テキストを読んでくる。 【復習】⑭の復習する。		【予習】30分 【復習】30分
⑮【小出】認知症についての総括				【復習】⑧～⑮の復習する		【予習】30分 【復習】30分
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座13「認知症の理解」 ISBN978-4-8058-5773-1 中央法規出版				その他参考文献など: 介護福祉士用語辞典		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この科目は「介護福祉士としての専門性」として認知症患者の介護に役に立つ分野である。しっかりマスターしてください。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: こころとからだのしくみ II			担当教員 氏名: 吉田 良昌			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			施設において、必要とされる介護福祉士になるための心構え、よい習慣について説明します。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
「こころとからだのしくみ II」は、介護サービスを提供する際の身体的な根拠を理解していくための授業となる。人体の基本的な構造や機能及びその病的状態について理解し、代表的な疾患についてその概要を理解する。また、介護者の異常を発見し、すぐに報告できる能力を身につけるとともに、保健医療対策と医事法制の概要について理解する。					人体の解剖と生理機能 主な疾患の特徴 介護福祉士の心構え 介護理論	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
B 専門的技術			知識と実践の両方の専門技術を身につける			
A 知識・理解力			講義内容を理解する、勉強に集中する、やり遂げるという習慣を身に着ける			
D 問題解決力			自分で工夫し、わからなければ先輩に質問する能力			
H コミュニケーション力			他のスタッフと協調して仕事をすることができる、挨拶できること			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 0 %		レポート: 50 %		発表: 30 %		実技試験: 0 %
その他: 20 %						
特記事項: 自己学習内容をわかりやすく発表できること。グループディスカッションでしっかり意見が言えること。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、レポート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポート形式で提出する。各学期ごとに行う						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却します						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①からだのしくみを学ぶ意義				テキスト、スライド		60分
②人体の構造の概要を理解する				テキスト、スライド		60分
③神経系・心血管系を理解する				テキスト、スライド		60分
④呼吸器系の理解				テキスト、スライド		60分
⑤消化系・代謝系の理解				テキスト、スライド		60分
⑥尿路・性器系の理解				テキスト、スライド		60分
⑦中間のまとめ				テキスト		60分
⑧皮膚及び関連部位に理解				テキスト、スライド		60分
⑨筋骨系の理解				テキスト、スライド		60分
⑩ボディメカニクス・関節可動域の理解				テキスト、スライド		60分
⑪バイタルサイン・恒常性(ホメオスタシス)の理解				テキスト、スライド		60分
⑫主な変性疾患の特徴				テキスト、スライド		60分
⑬生活習慣病				テキスト、スライド		60分
⑭総括				テキスト		60分
⑮「看とり」について				DVDなど		60分
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5771-7 C3036				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): テキストを中心に授業しますが、適時スライド、DVDを使用します						

社会福祉学科			介護福祉 専攻			1年
科目名: ころとからだのしくみIV				担当教員 氏名: 小出 えり子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師としての臨床経験を活かし、基礎的知識を習得できる授業をする。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
「ころとからだのしくみ」について、ICFの視点から利用者の排泄・睡眠などの生活場面における根拠に基づいた生活支援ができる。最終障では「人間の尊厳にかかわる終末期の身体・心理的ケアの支援ができる」ことに目標を設定する。保健医療および保健医療対策と医事法制的概要に関する基礎知識について理解する					根拠 尊厳 看取り ICFの視点 ターミナル グリーフケア	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力			人体の構造や機能を学び安全な生活支援ができる知識や技術を習得する。保健医療および保健医療対策と医事法制的概要に関する基礎知識について理解する。			
B 専門的技術			根拠に基づいた生活支援の実践を通して介護に関わる専門性を発揮する。			
D 問題解決力			ICFの視点から情報を収集・分析して、利用者のニーズに応じた生活支援ができる。			
H コミュニケーション力			心身のケアを通して、本人や家族に共感でき、相手の死生観に基づいたコミュニケーション力を身につける。			
F チームワーク・リーダーシップ			刻々と変化する身体のアセスメントを行い、医療職との連携のもとで、平和な看取りを支援する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: 20 %		発表: 20 %		実技試験: % その他: 20 %
特記事項: その他の20%は、授業態度、参加姿勢を評価します。 本科目は、アクティブラーニングを基本とするため、講義中により良いケアについて、学生間で学び合い、論議し、レポート作成や発表を行います。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第9回目に「根拠に基づいた生活支援」のまとめをする。第15回目に「終末期の介護」のまとめをする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点し返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①入浴・清潔保持に関連したしくみ(入浴・清潔保持のしくみ)				【予習】テキストを読む 【復習】①の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響				【予習】テキストを読む 【復習】②の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③入浴・清潔保持の変化の気づきと対応				【予習】テキストを読む 【復習】③の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④排泄に関連したしくみ(排泄のしくみ)				【予習】テキストを読む 【復習】④の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤心身の機能低下が排泄に及ぼす影響				【予習】テキストを読む 【復習】⑤の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥排泄の変化の気づきと対応				【予習】テキストを読む 【復習】⑥の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦睡眠に関連したしくみ(睡眠のしくみ)				【予習】テキストを読む 【復習】⑦の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響				【予習】テキストを読む 【復習】⑧の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨睡眠の変化の気づきと対応				【予習】テキストを読む 【復習】⑨の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩「ころとからだのしくみ」の観点から、生活支援技術の根拠をまとめる				【予習】①～⑨の配布プリントを読む 【復習】⑩の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪人生の最終段階に関する「死」の考え方				【予習】テキストを読む 【復習】死生観について考えてくる	【予習】30分 【復習】30分	
⑫「死」を受容する段階、家族が「死」を受容できるための支援				【予習】テキストを読む 【復習】⑫の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬終末期から「死」までの心身の変化が生活に及ぼす影響				【予習】テキストを読む 【復習】⑬の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭死後のからだの変化				【予習】テキストを読む 【復習】⑭の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮終末期における医療職との連携				【予習】⑩～⑭の配布資料を読む	【予習】30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座11『ころとからだのしくみ』中央法規出版 ISBN978-4-8058-5771-7 C3036				その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介をする。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この科目は、生活支援技術の根拠となる分野である。しっかりとマスターしてください。						



社会福祉学科			介護福祉 専攻			1年
科目名: 医療的ケア基礎				担当教員 氏名: 宮城 和美、小出 えり子、山本 朋子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師としての臨床経験を活かし、基礎的知識や技術を習得できる授業をする。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
①介護職員等による医療的ケアの実施に関する制度の概要についての知識を身につける。②医療的ケアの基礎: 全体の構造、医療行為実施の意識。感染予防、安全管理対策等についての基礎的知識を身につける。						医療的ケア たんの吸引 経管栄養 安全・安楽 医療職との連携・協働 感染予防
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力			介護職員等による医療的ケアの実施に関する制度の概要についての知識を身につける。			
B 専門的技術			医療的ケアの基礎: 全体の構造、医療的行為実施を意識できる。			
C 論理的思考力			感染予防、安全管理対策等についての基礎的知識を身につける。			
F チームワーク・リーダーシップ			看護職員との連携・協力・報告の重要性を理解する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %		レポート: 20 %		発表: %	実技試験: 20 %	その他: 20 %
特記事項: 「その他」の20%は、授業態度、参加姿勢を評価します。本科目は、アクティブラーニングを基本とするため、講義中に、より良いケアについて、学生間で学び合い、論議し、レポート作成や発表を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第9回目に中間のまとめをする。 第15回目にまとめをする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点し返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【小出】医療的ケアとは				【予習】テキストを読む 【復習】①復習	【予習】30分 【復習】30分	
②【小出】喀痰吸引等制度				【予習】テキストを読む 【復習】②復習	【予習】30分 【復習】30分	
③【小出】医療的ケアの倫理上の留意点、個人の尊厳と自立				【予習】テキストを読む 【復習】③復習	【予習】30分 【復習】30分	
④【小出】安全な療養生活、安全な管理体制				【予習】テキストを読む 【復習】④復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤【小出】安全な療養生活を送るために: たんの吸引や経管栄養の安全な実施				【予習】テキストを読む 【復習】⑤復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥【山本・宮城】救急蘇生法とは				【予習】テキストを読む 【復習】⑥復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦【山本・宮城】救急蘇生法とは(演習)				【予習】テキストを読む 【復習】⑦復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧【宮城】清潔保持と感染予防とは				【予習】テキストを読む 【復習】⑧復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨【宮城】清潔保持と感染予防とは②				【予習】テキストを読む 【復習】⑨復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩【宮城】清潔保持と感染予防とは(実践)				【予習】テキストを読む 【復習】⑩復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪【宮城】健康状態の把握(バイタルサイン)				【予習】テキストを読む 【復習】⑪復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫【宮城】健康状態の把握(バイタルサインの実践)				【予習】テキストを読む 【復習】⑫復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑬【宮城】急変状態について				【予習】テキストを読む 【復習】⑬復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭【宮城】呼吸のしくみとはたらき				【予習】テキストを読む 【復習】復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮【宮城】消化器系のしくみとはたらき、医療的ケア基礎のまとめ				【予習】テキストを読む、⑩～⑭の復習をする	【予習】30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座15「医療的ケア」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5775-5 C3036 写真でわかる介護職のための医療的ケア インターメディカ出版 ISBN978-4-89996-329-5 C3047				その他参考文献など: イラストでわかる たんの吸引・経管栄養ハンドブック 単行本		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 適宜資料を配布しますので、各自整理・保管をしてください。						

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 介護実習Ⅱ-①				担当教員 氏名: 毛利 亘					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
4	1年次	後期	専門科目	実習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか:			介護実習Ⅱ-①では、特別養護老人ホームや介護老人保健施設等で20日間の実習を行い、介護実践を学ぶ。要介護者や家族へ の支援を介護技術およびコミュニケーションの視点で実際に支援する方法を学ぶ。介護福祉現場にて従事経験がある教員が、そ の経験を活かして実習指導を展開する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
個別性を尊重した介護計画を立案すること、利用者の心身の状況に応じた生活支援技 術を実践することが本実習の目標です。					介護過程 心身の状況に応じた生活支援 技術 レクリエーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9				
B 専門的技術			利用者の心身の状況に応じた生活支援技術が実践できる。						
C 論理的思考力			利用者のニーズに応じた介護計画を立案できる。						
D 問題解決力			課題の達成のために解決方法を考慮することができる。						
G 倫理観			利用者の尊厳を守り、個別性を尊重した介護実践ができる。						
H コミュニケーション力			利用者の心身の状況に応じたコミュニケーションの工夫を図り、展開することができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 実習施設指導者評価、巡回教員評価及び学内評価・記録物に対するの総合的な評価をします。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <b>実習、フィールドワーク</b>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 施設評価を個人面談形式で伝達します。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
詳細については「実習要綱」に記載									
使用テキスト: 「介護実習要綱」 富山福祉短期大学				その他参考文献など: ICF 国際生活機能分類—国際障 害分類改定版 [単行本] 障害者福祉研究会(編集)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習は利用者の生活の場で行われるものなので、十分にそのことを認識して臨んで下 さい。									